



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月19日

上場会社名 林兼産業株式会社  
 コード番号 2286 URL <http://www.hayashikane.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中部 哲二

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長 (氏名) 小野 康之

TEL 083-266-0210

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	45,175	1.7	988	10.5	1,288	1.0	874	1.1
2019年3月期	44,401	2.6	1,104	8.9	1,275	10.9	864	5.8

(注) 包括利益 2020年3月期 91百万円 (91.2%) 2019年3月期 1,035百万円 (18.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	98.25		11.2	4.3	2.2
2019年3月期	97.15		11.7	4.3	2.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 70百万円 2019年3月期 11百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,683	8,601	26.2	874.61
2019年3月期	30,129	8,655	25.9	878.12

(参考) 自己資本 2020年3月期 7,786百万円 2019年3月期 7,817百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	115	819	27	1,551
2019年3月期	887	861	564	2,229

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期				15.00	15.00	133	15.4	1.8
2020年3月期				15.00	15.00	133	15.3	1.7
2021年3月期(予想)				15.00	15.00		9.9	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	0.4	620	37.3	750	41.8	1,350	54.3	151.64

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,910,000 株	2019年3月期	8,910,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	7,228 株	2019年3月期	7,054 株
期中平均株式数	2020年3月期	8,902,845 株	2019年3月期	8,902,952 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料4ページの「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
(4) 今後の見通し	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
(1) 連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	・ ・ ・ ・ ・	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
(セグメント情報等)	・ ・ ・ ・ ・	P. 14
(1株当たり情報)	・ ・ ・ ・ ・	P. 18
(重要な後発事象)	・ ・ ・ ・ ・	P. 18
4. その他	・ ・ ・ ・ ・	P. 19
役員の異動	・ ・ ・ ・ ・	P. 19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調で推移いたしました。年明け以降、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大した影響から経済活動が停滞し、先行き不透明な状況となりました。食品業界におきましては、物流費などのコスト増加や慢性的な人手不足、国内外での家畜疾病の発生など厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは「第四次中期経営計画」(2019年3月期～2020年3月期)のもと、「前進～次のステージへ」をテーマに「収益基盤」「財務基盤」「経営基盤」の安定化を図り、持続的な成長を可能とする事業基盤の確立に取り組んでまいりました。

「収益基盤」については、機能性食品の増産対応や加工食品工場の最適生産体制を構築するとともに、投資効果の検証などを通じて収益体制の確立に取り組んでまいりました。

「財務基盤」については、有利子負債や在庫の圧縮による財務改善を目指してまいりました。

「経営基盤」については、コーポレートガバナンスを更に強化し継続的な企業価値向上を図ってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は、養魚用飼料や機能性食品の売上が増加したことなどにより451億75百万円(前期比1.7%増加)となりました。損益面におきましては、豚肉仕入れコストの増加などによる利益率の悪化もあり営業利益は9億88百万円(前期比10.5%減少)となったものの、営業外収支の改善により経常利益は12億88百万円(前期比1.0%増加)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券評価損2億37百万円の計上などもありましたが、8億74百万円(前期比1.1%増加)となりました。

当連結会計年度のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、中国向けの輸出増加や価格改定の実施により、増収となりました。

機能性食品におきましては、機能性食品素材「カツオエラスチン」や「ヒシエキス」、高齢者向けソフト食「ソフミート」の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は49億34百万円(前期比4.0%増加)、魚肉ねり製品の価格改定や輸出増加によりセグメント利益(営業利益)は3億94百万円(前期比58.8%増加)となりました。

#### ②畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、業務用商材の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、豚肉の販売数量減少や単価下落により、減収となりました。

調理食品におきましては、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は195億88百万円(前期比2.0%減少)となりました。損益面におきましては、豚肉仕入れコストの増加などによる利益率の悪化もありセグメント利益(営業利益)は3億51百万円(前期比40.7%減少)となりました。

### ③飼料事業

養魚用飼料におきましては、ブリ・マダイの在池量増加を背景に販売数量が増加したことにより、増収となりました。

水産物におきましては、鰻の取り扱い量が減少したことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、養豚用飼料の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は181億11百万円(前期比4.2%増加)、セグメント利益(営業利益)は11億16百万円(前期比5.6%増加)となりました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は296億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少しました。流動資産の増加(前期末比6億82百万円増加)は、主に現金及び預金が4億3百万円減少したものの、商品及び製品が5億28百万円、仕掛品が1億77百万円、原材料及び貯蔵品が3億51百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の減少(前期末比11億29百万円減少)は、主にリース資産(純額)が4億76百万円増加したものの、投資有価証券が15億10百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における負債合計は210億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億92百万円減少しました。流動負債の減少(前期末比3億29百万円減少)は、主に短期借入金が増加したものの、買掛金が10億20百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少(前期末比63百万円減少)は、主にリース債務が2億64百万円、退職給付に係る負債が86百万円増加したものの、繰延税金負債が3億90百万円減少したことなどによるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は86億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益を8億74百万円計上したものの、配当金の支払いによる利益剰余金の減少が1億33百万円あったことや、その他有価証券評価差額金が7億85百万円減少したことなどによるものです。

#### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、投資活動によるキャッシュ・フローは減少し、前連結会計年度末に比べ6億77百万円減少の15億51百万円(前期末比30.4%減少)となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は1億15百万円(前期は8億87百万円の増加)となりました。これは主にたな卸資産の増加額が10億57百万円、仕入債務の減少額が8億22百万円あったものの、税金等調整前当期純利益10億34百万円、減価償却費8億22百万円の計上や、売上債権の減少額が4億9百万円あったことなどによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は8億19百万円(前期は8億61百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が8億81百万円あったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は27百万円(前期は5億64百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が14億58百万円、リース債務の返済による支出が2億55百万円あったものの、短期借入れによる収入が6億15百万円、長期借入れによる収入が12億72百万円あったことなどによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	22.4	23.8	25.9	26.2
時価ベースの自己資本比率(%)	27.7	25.1	17.1	16.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	5.3	5.6	14.6	121.0
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	10.8	11.5	5.7	0.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が国内外の経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。食品業界におきましては、こうした状況に加え、物流費などのコスト増加や慢性的な人手不足の問題もあり、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは本年4月からの2カ年を「将来を見据えた磐石な事業基盤の確立」の期間と位置付け、「新中期経営計画<挑戦>challenge2022」(2021年3月期～2022年3月期)を策定いたしました。この計画のもと、経営資源の選択と集中により構造改革を進めて収益基盤の改善を図るとともに、安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指してまいります。

次期連結会計年度の見通しにつきましては、売上高は450億円(前期比0.4%減少)、営業利益は6億20百万円(前期比37.3%減少)、経常利益は7億50百万円(前期比41.8%減少)を見込んでおり、親会社株主に帰属する当期純利益については、固定資産売却益7億62百万円(概算)の計上により13億50百万円(前期比54.3%増加)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、今後のIFRS(国際財務報告基準)については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,325,242	1,922,156
受取手形及び売掛金	5,337,185	5,319,303
商品及び製品	1,822,122	2,350,987
仕掛品	2,020,681	2,198,012
原材料及び貯蔵品	1,745,453	2,096,611
その他	518,527	564,926
貸倒引当金	△3,207	△3,119
流動資産合計	13,766,005	14,448,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,885,629	17,832,103
減価償却累計額	△14,462,515	△14,365,824
建物及び構築物(純額)	3,423,113	3,466,278
機械装置及び運搬具	8,494,679	8,336,115
減価償却累計額	△7,398,910	△7,149,545
機械装置及び運搬具(純額)	1,095,768	1,186,569
土地	4,216,119	4,339,231
リース資産	2,107,131	2,688,452
減価償却累計額	△753,472	△858,181
リース資産(純額)	1,353,659	1,830,271
建設仮勘定	219,501	52,667
その他	917,982	922,036
減価償却累計額	△788,529	△795,538
その他(純額)	129,452	126,498
有形固定資産合計	10,437,615	11,001,516
無形固定資産	21,972	17,975
投資その他の資産		
投資有価証券	4,557,714	3,046,885
破産更生債権等	2,395,660	2,040,225
繰延税金資産	37,074	150,464
その他	209,625	215,468
貸倒引当金	△1,295,956	△1,238,106
投資その他の資産合計	5,904,118	4,214,938
固定資産合計	16,363,706	15,234,430
資産合計	30,129,711	29,683,309

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,292,487	2,271,825
短期借入金	8,435,622	9,113,737
リース債務	281,362	326,985
未払法人税等	114,789	113,083
賞与引当金	287,025	298,204
環境対策引当金	1,409	15,520
災害損失引当金	4,800	—
その他	2,010,867	1,959,958
流動負債合計	14,428,363	14,099,315
固定負債		
長期借入金	2,751,419	2,801,819
リース債務	1,465,153	1,729,319
繰延税金負債	545,549	155,436
事業整理損失引当金	25,635	—
環境対策引当金	22,998	7,478
退職給付に係る負債	1,951,812	2,038,580
資産除去債務	30,000	—
その他	253,034	249,685
固定負債合計	7,045,603	6,982,320
負債合計	21,473,967	21,081,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	8,971	8,971
利益剰余金	3,067,315	3,808,435
自己株式	△7,226	△7,343
株主資本合計	6,484,080	7,225,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,362,493	576,907
繰延ヘッジ損益	△231	430
為替換算調整勘定	11,751	7,070
退職給付に係る調整累計額	△40,253	△23,023
その他の包括利益累計額合計	1,333,760	561,384
非支配株主持分	837,903	815,204
純資産合計	8,655,744	8,601,673
負債純資産合計	30,129,711	29,683,309



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	44,401,432	45,175,612
売上原価	37,214,264	37,896,198
売上総利益	7,187,168	7,279,414
販売費及び一般管理費	6,082,575	6,290,451
営業利益	1,104,592	988,962
営業外収益		
受取配当金	68,363	73,032
持分法による投資利益	11,194	70,570
貸倒引当金戻入額	79,408	86,463
その他	191,597	240,089
営業外収益合計	350,564	470,157
営業外費用		
支払利息	155,056	149,634
その他	24,280	20,651
営業外費用合計	179,336	170,285
経常利益	1,275,820	1,288,833
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,730
受取保険金	97,909	14,662
国庫補助金	127,680	59,225
その他	39	340
特別利益合計	225,629	86,958
特別損失		
投資有価証券評価損	—	237,098
災害による損失	74,797	—
固定資産圧縮損	127,680	73,887
たな卸資産処分損	89,529	—
その他	18,851	30,104
特別損失合計	310,858	341,090
税金等調整前当期純利益	1,190,591	1,034,701
法人税、住民税及び事業税	227,159	201,528
法人税等調整額	39,866	△111,022
法人税等合計	267,026	90,506
当期純利益	923,564	944,195
非支配株主に帰属する当期純利益	58,609	69,525
親会社株主に帰属する当期純利益	864,955	874,669

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	923,564	944,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,529	△865,915
繰延ヘッジ損益	1,348	662
退職給付に係る調整額	21,257	17,229
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△4,716
その他の包括利益合計	112,120	△852,740
包括利益	1,035,685	91,455
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	959,743	102,294
非支配株主に係る包括利益	75,942	△10,838

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415,020	8,971	2,291,392	△7,219	5,708,164
当期変動額					
剰余金の配当			△89,032		△89,032
親会社株主に帰属する当期純利益			864,955		864,955
自己株式の取得				△6	△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	775,922	△6	775,916
当期末残高	3,415,020	8,971	3,067,315	△7,226	6,484,080

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,290,312	△1,579	11,751	△61,511	1,238,972	771,645	7,718,783
当期変動額							
剰余金の配当							△89,032
親会社株主に帰属する当期純利益							864,955
自己株式の取得							△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	72,181	1,348	—	21,257	94,787	66,257	161,045
当期変動額合計	72,181	1,348	—	21,257	94,787	66,257	936,961
当期末残高	1,362,493	△231	11,751	△40,253	1,333,760	837,903	8,655,744

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,415,020	8,971	3,067,315	△7,226	6,484,080
当期変動額					
剰余金の配当			△133,549		△133,549
親会社株主に帰属する当期純利益			874,669		874,669
自己株式の取得				△117	△117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	741,120	△117	741,003
当期末残高	3,415,020	8,971	3,808,435	△7,343	7,225,083

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,362,493	△231	11,751	△40,253	1,333,760	837,903	8,655,744
当期変動額							
剰余金の配当							△133,549
親会社株主に帰属する当期純利益							874,669
自己株式の取得							△117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△785,586	662	△4,680	17,229	△772,375	△22,699	△795,074
当期変動額合計	△785,586	662	△4,680	17,229	△772,375	△22,699	△54,071
当期末残高	576,907	430	7,070	△23,023	561,384	815,204	8,601,673

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,190,591	1,034,701
減価償却費	828,598	822,142
持分法による投資損益(△は益)	△11,194	△70,570
固定資産売却損益(△は益)	△39	△331
固定資産廃棄損	18,851	15,563
固定資産圧縮損	127,680	73,887
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△12,730
投資有価証券評価損益(△は益)	—	237,098
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△34,694	△1,409
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△78,657	△57,937
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,760	11,179
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,147	103,230
受取利息及び受取配当金	△69,329	△73,494
受取保険金	△97,909	△14,662
補助金収入	△127,680	△59,225
支払利息	155,056	149,634
為替差損益(△は益)	856	1,140
たな卸資産処分損	89,529	—
災害損失	74,797	—
売上債権の増減額(△は増加)	△167,589	409,295
たな卸資産の増減額(△は増加)	△773,406	△1,057,354
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,467	△822,129
未払金の増減額(△は減少)	△24,466	△245,900
未収消費税等の増減額(△は増加)	20,341	△79,758
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,973	△8,064
その他	29,259	26,082
小計	1,110,244	380,388
利息及び配当金の受取額	69,829	73,794
補助金の受取額	127,680	59,225
保険金の受取額	97,909	—
利息の支払額	△155,085	△150,056
災害損失の支払額	△14,112	△59,329
法人税等の支払額	△348,892	△188,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	887,573	115,444
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△290,001	△70,000
定期預金の払戻による収入	250,000	96,078
有形固定資産の取得による支出	△805,537	△881,116
有形固定資産の売却による収入	323	22,147
無形固定資産の取得による支出	△1,508	△2,108
投資有価証券の取得による支出	△12,082	△5,035
投資有価証券の売却による収入	2	30,877
その他	△2,645	△10,484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△861,449	△819,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	615,000
長期借入れによる収入	1,243,000	1,272,000
長期借入金の返済による支出	△1,432,650	△1,458,746
リース債務の返済による支出	△277,053	△255,685
配当金の支払額	△88,235	△132,642
非支配株主への配当金の支払額	△9,684	△11,860
その他	△6	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△564,629	27,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,268	△1,021
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△536,237	△677,269
現金及び現金同等物の期首残高	2,765,401	2,229,164
現金及び現金同等物の期末残高	2,229,164	1,551,894

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 7社

(2) 連結子会社の名称

キリシマドリームファーム株式会社

林兼フーズ株式会社

都城ウエルネスミート株式会社

有限会社平安海産

有限会社桜林養鰻

林兼コンピューター株式会社

林兼冷蔵株式会社

(3) 非連結子会社の名称

OMAKANE SDN. BHD.

連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は、小規模会社であり、合計の総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためです。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した非連結子会社数

1社

会社等の名称

OMAKANE SDN. BHD.

(2) 持分法を適用した関連会社数

3社

会社等の名称

株式会社みなと、志布志飼料株式会社、株式会社ベツケイ

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主に当社の各事業部が取り扱う商品及び製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、当社の事業部を基礎とした商品及び製品別セグメントから構成されており、「水産食品事業」、「畜産食品事業」及び「飼料事業」の3つを報告セグメントとしております。

「水産食品事業」は魚肉ハム・ソーセージ、機能性食品等の製造販売及び仕入販売を行っております。「畜産食品事業」は畜肉ハム・ソーセージ、豚肉、牛肉等の製造販売及び仕入販売を行っております。「飼料事業」は養魚用飼料、畜産用飼料、活魚、稚魚等の製造販売及び仕入販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格等に基づいております。



3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,746,158	19,987,118	17,382,684	42,115,960	2,285,471	44,401,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,917	181,465	1,583,466	1,766,849	498,744	2,265,594
計	4,748,076	20,168,583	18,966,151	43,882,810	2,784,215	46,667,026
セグメント利益	248,526	593,030	1,057,540	1,899,097	219,895	2,118,992
セグメント資産	2,909,396	8,255,632	7,653,917	18,818,946	5,677,783	24,496,729
その他の項目						
減価償却費	180,181	283,558	226,706	690,447	108,700	799,148
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	279,854	310,887	286,226	876,968	185,648	1,062,617

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,934,825	19,588,054	18,111,628	42,634,508	2,541,103	45,175,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,265	183,120	1,577,394	1,761,780	553,685	2,315,465
計	4,936,091	19,771,174	19,689,022	44,396,289	3,094,789	47,491,078
セグメント利益	394,646	351,632	1,116,301	1,862,580	253,672	2,116,253
セグメント資産	3,146,777	8,640,234	7,718,014	19,505,026	5,820,338	25,325,364
その他の項目						
減価償却費	157,057	282,032	229,109	668,200	130,875	799,076
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	284,806	336,517	373,151	994,475	322,509	1,316,985

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	43,882,810	44,396,289
「その他」の区分の売上高	2,784,215	3,094,789
セグメント間取引消去	△2,265,594	△2,315,465
連結財務諸表の売上高	44,401,432	45,175,612

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,899,097	1,862,580
「その他」の区分の利益	219,895	253,672
セグメント間取引消去	8,885	△1,308
全社費用(注)	△1,023,285	△1,125,981
連結財務諸表の営業利益	1,104,592	988,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,818,946	19,505,026
「その他」の区分の資産	5,677,783	5,820,338
全社資産(注)	5,632,982	4,357,944
連結財務諸表の資産合計	30,129,711	29,683,309

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない林兼産業株式会社本社の土地及び建物です。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	690,447	668,200	108,700	130,875	29,450	23,066	828,598	822,142
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	876,968	994,475	185,648	322,509	30,731	162,323	1,093,349	1,479,308

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に林兼産業株式会社の本社建物に係る設備投資額です。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
マルハニチロ株式会社	6,776,719	水産食品事業、畜産食品事業、飼料事業

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
マルハニチロ株式会社	6,554,459	水産食品事業、畜産食品事業、飼料事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	878円12銭	874円61銭
1株当たり当期純利益	97円15銭	98円25銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	864,955	874,669
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	864,955	874,669
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,902	8,902

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動(2020年6月25日付予定) ※2020年4月14日開示済み

1. 新任取締役候補

取締役 経営企画室長	宮崎 一郎 (みやざき いちろう)
	(現 経営企画室長)

2. 退任予定取締役

取締役	熊山 忠和 (くまやま ただかず)
-----	-------------------

3. 新任監査役候補

監査役 (非常勤、社外監査役)	三田村 知尋 (みたむら ちひろ)
-----------------	-------------------

4. 退任予定監査役

監査役 (非常勤、社外監査役)	大深 邦宏 (おおふか くにひろ)
-----------------	-------------------

以上